

キャロルは真夜中に殺される (1986)

YOU'LL DIE AT MIDNIGHT

メディア 映画

ジャンル サスペンス

製作国 イタリア

時間 89分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

“イタリアン・フィルム・コレクション”と銘打たれ、特別に劇場公開（配給マウントライト）された事もある佳作サスペンス。ある女がシャワールームでアイスピックにより何者かに惨殺される。当局は、その事件の直前に彼女と大喧嘩をした刑事である夫に疑いをかける。一方、彼の同僚でもある犯罪心理学を研究する女教授は精神病者の犯行と見て、真犯人の存在を確信、12年前に“真夜中の殺人鬼”と呼ばれ、その後、精神病院の火事で死亡した男を疑い出す……。作品全体に伏線が張り巡らされた“ヒッチコック”風サスペンスの良作で、監督自身もそれを意識したのか作品の随所でその影響が見られる（事件の発端となるシャワールームでの殺人なんかは「サイコ」そのものである）。そのため一見して紛い物のような扱いを受けかねないのだが、物語をスリリングに仕立てる演出手腕が見事なので良い意味での“贋作”となっている。邦題の基になっているキャロル役の少女も魅力的な個性を生かして好演。

【クレジット】

監督	ランベルト・バーヴァ	Lamberto Bava
原案	ダルダーノ・サケッティ	Dardano Sacchetti
脚本	ダルダーノ・サケッティ	Dardano Sacchetti
	ジョン・オールド・Jr	John Old Jr.
撮影	ジャンロレンツォ・バッタリア	Gianlorenzo Battaglia
音楽	クラウディオ・シモネッティ	Claudio Simonetti
出演	ララ・ウェンデル	Lara Wendel
	バレリア・トレビリオ	
	E・ホッペ	